2025 年度 法学部 FD 活動方針・活動計画

法学部では、全学の FD 方針に基づき、以下の取り組みを実施する。

I. FD 概念の設定 (FD の目的)

FD の概念は多様である。したがって、既存の授業改善を図るときに教授団として FD とは何か、どういった方向へ改善を進めるかについて課題を共有する必要がある。その課題を発見し、共有する。

1. 中核スキルの確定

【目的】

法学・政治学系に共通する「学生が身につけるべき中核スキル」を発見し、共有する。

【実施内容】

- ・ 5 月中
担当する授業を実施するにあたって「向上を意識している学生の能力」と「あらかじめ備えておいてほしい学生の能力」の調査を行う。
- ・ 6 月 4 日 (水) 法学部教授会終了後 FD 研修会
 - ・ 各教員が認識している「学生が身につけるべき中核スキル」の概念を共有する。
 - ・ FD の対象とする中核スキルを選定する。

II. 中核的スキルを身につけるための授業デザイン (FD 総論)

次に、中核的スキルを身につけるための授業デザインを行う必要がある。2025 年度から授業が 105 分×13 回になったのにもなって、105 分という時間の枠組みでどのように授業デザインを行うかについて検討する。

1. 105 分授業の最適化

【目的】

2025 年度から 105 分授業が始まったが、いずれの教員も手探り状態である。このため、2025 年度後期からの授業に向けて最適化を進める。

【実施内容】

- ・ 5 月下旬 105 分授業への工夫報告の依頼 (どんな工夫か? その効果は?)
- ・ 6 月 8 日 (水) 法学部教授会 105 分授業への工夫の報告の告知
- ・ 6 月中旬 各教員の工夫の共有
- ・ 7 月 2 日 (水) 法学部教授会終了後 FD 研修会
 - ・ 実践例の紹介

- ・グループ(*1)ごとに意見交換
- ・8月末 改善計画の提出 (P)
- ・9月～12月 後期・授業実施 (D)、(同時) 授業観察
- ・12月末 改善計画 (ふり返り) の提出 (C)
- ・1～2月 2026年度シラバスの作成 (A)

*1 「グループ」とは、ゼミナール運営の基礎となっている企業法務、自治体公共政策、刑事法、グローバル公共政策の4グループである。

2. 設計的な授業展開 (授業デザインシート)

【目的】

既に教員はシラバスの形で授業計画を立てているが、1回ごとの授業について、教員と学生の関係を意識しながら授業設計して、どのような意図でどのような発話をするかについて十分に検討できているとは限らない。このため、授業デザインシートを書いて、授業展開できるようになる。

【実施内容】

- ・6月4日 (水) 法学部教授会終了後 FD 研修会
 - ・授業デザインシートの紹介
 - ・授業デザインシートの書き方についての研修
- ・8月末 授業デザインシートの提出 (P) * 1回または1ユニット分を予定
- ・9月～12月 後期・授業実施 (D)、(同時) 授業観察
- ・12月末 授業デザインシート (ふり返り) の提出 (C)
- ・1～2月 2026年度シラバスの作成 (A)

その他：

- ・教職Cの教員に支援してもらう必要がある。

III. 教育スキルの向上 (FD 各論)

授業デザインと実践の質を向上させるためには多様な教育手法を身につけることにより選択の幅が広がる。これを身につける。

1. 教育スキルの向上

【目的】

Think-Pair-Share、ジグソー法、ポスターツアー、反転授業等の教育スキルを身につける。

【実施内容】

- ・7月下旬まで 前期・アンケートの分析

- ・ 9月～12月法学部教授会終了後 FD 研修会
 - ・ 改善項目についてのスキルアップ研修
- その他：
 - ・ 適宜、講師を招聘する。

2. 言語技術 I・II との学部専攻科目との連携

【目的】

「言語技術 I・II」と学部専攻科目での言語スキルについての共通基盤を発展させて強固な概念の言語化スキル（及び言語を概念に還元するスキル）を修得する。

【実施内容】

- ・ 未 定

【実施項目】

- ・ トピック把握（焦点化）
- ・ 事実把握・論理展開とともに解像度を高める
- ・ ロジカルシンキング……等

3. ソーシャル・メディアの使い方

【目的】

SNS を効果的に使う場合にどのような留意点が必要かについて学ぶ

【実施内容】

- ・ 5月7日（水）法学部教授会終了後 FD 研修会
 - ・ 法学部の SNS 活動の紹介（Instagram・X・Facebook・YouTube・TikTok）
 - ・ 学生の SNS の使い方と注意点
 - ・ 教員の効果的な SNS の使い方と注意点

以上